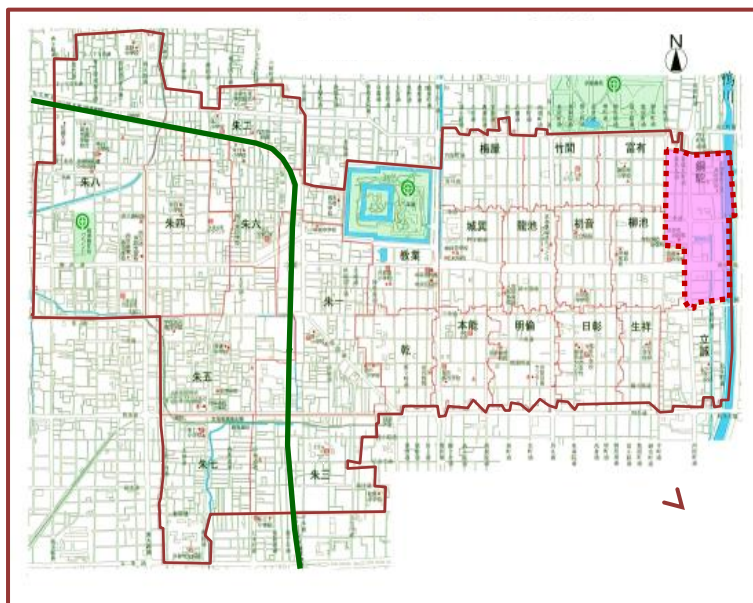




銅駝学区

銅駝学区は、東は鴨川^{かもがわ}、西は寺町通^{てらまち}東側、北は丸太町通^{まるたまち}の一筋南にある御霊岡^{ごりょうざし}子通から南は三条通^{さんじょう}の手前までに囲まれた地域（京都市役所本館とそれ以南は他学区）で、中京区の中では北東の端にあります。

「銅駝」という名前は、古代中国の都には銅の駱駝像があり、その都にならって造られた平安京でも、二条から中御門^{なかつみかど}あたりまでを「銅駝坊^{らくだ}」と称していたことから、明治8年に府知事により小学校名が「銅駝」と名付けられたことに由来します。



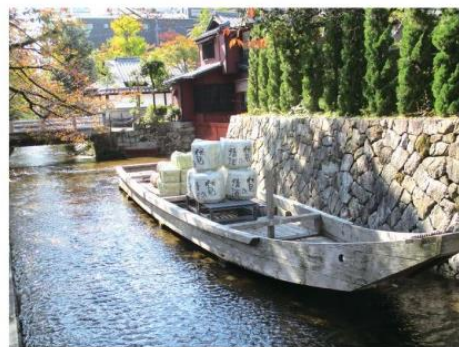
京都市立 銅駝美術工芸高等学校跡（元銅駝小学校）

学区の文化や歴史的建造物など「高瀬川一之舟入界限」^{たかせがわいちのふないりかい}

京都の木屋町^{きや}を南北に流れる高瀬川は、約 400 年前の慶長 19(1614)年に角倉了以^{すみのくらりょうい}とその息子素庵^{そあん}によって開削され、大正のはじめまで約 300 年間、京都の市内と伏見間の水運として利用されました。

荷物の揚げ降ろしは高瀬川に垂直に造られた舟入で行われ、舟入は二条から四条までの間に 9 つありました。現存するのは木屋町二条にある一之舟入のみで国の名勝史跡^{めいしょうしせき}になっており、春の桜、夏の蛍、秋の紅葉、冬の雪景色とそれぞれの趣があります。

近くには、国の登録文化財である「島津創業記念館」もあります。



高瀬川一之舟入の様子

自治会・町内会に加入しましょう

銅駝自治連合会

銅駝自治連合会は学区内にある25の自治会・町内会と、10の各種団体が協働し、住民の福祉の向上と安心安全のまちづくりに取り組む、地域住民による組織です。

主な年間行事



7月 防災避難訓練



8月 子ども縁日



8月 盆おどり大会



10月 区民体育祭



11月 秋のレクリエーション(BBQ)

※ 例年実施している主な行事です。ここ3年間は新型コロナウイルス感染症予防のため開催を自粛していました。